

令和6(2024)年度
相愛大学大学院
音楽研究科 音楽専攻 修士課程
入学試験要項



Soai University Graduate School OSAKA

目 次

1. 教育研究上の理念・目的及び3つのポリシー	p.1
2. 入学試験等について	
①出願資格	p.2
②入学定員	p.3
③入試日程・試験会場	p.3
④試験科目と判定方法	p.3
⑤試験内容	p.3
⑥試験時間割	p.4
⑦受験上の諸注意について	p.4
⑧合否発表	p.4
3. 出願手続	
①入学検定料と出願書類	p.5
②その他	p.5
4. 入学手続及び学費・諸経費	
①学費・諸経費	p.6
②入学手続	p.6
5. その他諸注意	
①個人成績の開示について	p.6
②過年度入試問題の閲覧について	p.6
6. カリキュラムについて	
①カリキュラム	p.7
②修了要件及び履修方法等	p.8
③履修モデル	p.8
7. 音楽研究科 音楽専攻 修士課程 指導教員	p.10
8. 入学試験：専門試験実技等課題	p.11

1. 教育研究上の理念・目的及び3つのポリシー

* 教育研究上の理念

相愛大学は大乗仏教經典『仏説無量寿経』に示された「當相敬愛」の精神、すなわち「他者を敬い愛するところの徳」を建学の精神とし、音楽教育において明治末期より今日に至るまで、高度な音楽的技術の修得にとどまらず、宗教的情操を備え、感性豊かで優れた音楽家、音楽教育者、音楽研究者ならびに音楽文化と産業の振興に貢献できる人材を育成してきた。

相愛大学大学院音楽研究科では、この理念を継承しつつ、その真髄を究めるために、さらに高度な演奏技能・創作能力・研究能力を養い、同時にその技能・能力・知識を発揮するための教養を涵養し、多様性を帯びてきている音楽の諸相に対応し得る見識を養うことによって、音楽を幅広く総合的に捉えるための深い学識を授けることを教育研究上の理念とする。

* 教育研究上の目的

クラシック音楽について高度で深遠な技能と学識を有し、加えてその能力を活用し得る企画力と実践力を修得した高度の専門的職業人の養成を通して、社会的要請に即した国内外の芸術文化の進展に寄与することを目的とする。

* アドミッションポリシー（入学者受入方針）

相愛大学大学院音楽研究科は、音楽文化の水準を進展するための深遠な学識を究め、卓越した能力を持つ演奏家、作曲家、音楽研究家をめざすとともに、クラシック音楽に求められる多様な社会的要請に対応する意欲を持つ人材を受け入れる。

- 1) 音楽専攻声楽領域の履修を希望する場合は、入学選抜時に以下のことが確認された者に対して入学を許可する。声楽を主として音楽文化に貢献するために必要な知識と技能を有し、オペラ、歌曲など声楽のさらなる表現の探求に強い意志があること。
- 2) 音楽専攻鍵盤領域の履修を希望する場合は、入学選抜時に以下のことが確認された者に対して入学を許可する。鍵盤楽器を主として音楽文化に貢献するために必要な知識と技能を有し、ピアノを中心としてさらなる表現の探求に強い意志があること。
- 3) 音楽専攻器楽領域の履修を希望する場合は、入学選抜時に以下のことが確認された者に対して入学を許可する。器楽（管楽器、弦楽器、打楽器）を主として音楽文化に貢献するために必要な知識と技能を有し、オーケストラや室内楽、独奏などにおいてさらなる表現の探求に強い意志があること。
- 4) 音楽専攻作曲領域の履修を希望する場合は、入学選抜時に以下のことが確認された者に対して入学を許可する。作曲を通じて音楽文化に貢献する強い意志があり、新たな技術と表現を探求するために必要な素質と知識があること。
- 5) 音楽専攻音楽学領域の履修を希望する場合は、入学選抜時に以下のことが確認された者に対して入学を許可する。音楽研究家として音楽文化に貢献する強い意志があり、研究を進めるために必要な音楽史的見地と学術的考察力があること。

* カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施方針）

相愛大学大学院音楽研究科は、優れた演奏技能・創作能力・研究能力を有する演奏家、作曲家、音楽研究家であると同時に、その能力を活用する高度の専門性と応用力によって音楽文化の水準を維持・向上させ、加えて創意工夫を凝らした独創的且つ自立的な音楽活動並びに芸術文化を牽引できる人材の育成をめざし、課程に共通した授業科目及び学生個々の専門領域に応じた授業科目によって教育課程を編成し実施する。また、修士演奏、修士作品、修士論文制作のために必要な研究指導を行う。

* ディプロマポリシー（学位授与方針）

本学大学院に2年以上在籍して所定の授業科目30単位以上を修得し、且つ以下に示す能力を身に付け、研究の成果の審査及び試験に合格した学生に対して修士（音楽）の学位を授与する。

- 1) クラシック音楽の高度で深遠な技能や学識
- 2) クラシック音楽の専門性を活かした自立的音楽活動を展開する能力
- 3) 音楽の専門的表現を用いて芸術文化を牽引できる能力
- 4) 音楽におけるさまざまな領域の相互関連を理解し、多様な音楽的価値観に共感できる能力

2. 入学試験等について

①出願資格

音楽研究科音楽専攻（修士課程）への出願資格は、以下の各号の何れかに該当した者

- 1) 学校教育法第83条に規定する大学を卒業した者、又は2024年3月末日までに大学を卒業見込みの者
- 2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者、又は2024年3月末日までに学士の学位を授与される見込みの者
- 3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者、又は2024年3月末日までに修了見込みの者
- 4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者、又は2024年3月末日までに修了見込みの者
- 5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者、又は2024年3月末日までに修了見込みの者
- 6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で、文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、又は2024年3月末日までに修了見込みの者
- 7) 文部科学大臣が指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- 8) 2024年3月末日で大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得する者と、本学において認めた者（※1）
- 9) 本学において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2024年4月1日までに22歳に達する者（※2）

※1 相愛大学の在學生で、出願資格8)にて出願を希望する場合は、2年次の3月15日までに「相愛大学早期卒業適格認定申請書」により学長に申し出た者に限ります。

※1※2 出願資格8)9)にて出願する場合は、事前に入学資格認定審査を行います。申請書類の提出は各入試出願受付開始の2週間前まで（必着）となります。

②入学定員

試験	専攻名	研究領域	募集人員	入学定員
前期選抜試験	音楽専攻	声楽／鍵盤*／器楽** 作曲／音楽学	6名	8名
後期選抜試験			2名	

* 鍵盤領域はピアノ

** 器楽領域は、「8. 入学試験：専門試験実技等課題」(p.11)に記載される楽器を専門とする学生を受け入れます。

③入試日程・試験会場

	出願受付期間	受験票 公開日	試験日	合否発表日	入学手続締切日
前期選抜試験	2023年9月1日(金) ～9月7日(木) (受付最終日消印有効)	9月13日(水) (13:00から 確認可能)	9月23日(土・祝) 9月24日(日)	10月4日(水) (10:00から 照会可能)	入学金納入 10月11日(水) 前期授業料等納入 12月15日(金)
後期選抜試験	2024年2月5日(月) ～2月15日(木) (受付最終日消印有効)	2月20日(火) (13:00から 確認可能)	2月24日(土) 2月25日(日)	3月1日(金) (10:00から 照会可能)	入学金納入 3月8日(金) 前期授業料等納入 3月29日(金)

試験会場：相愛大学南港学舎

④試験科目と判定方法

専門試験	研究計画及び口頭試問	西洋音楽史	外国語(英語)	合計
300点	100点	100点	100点	600点

※各領域とも専門試験を重視し、他の試験科目を含めて総合的に判定します。

⑤試験内容

1) 専門試験

声楽、鍵盤、器楽領域を志望する者には演奏実技試験、作曲領域を志望する者には作曲実技試験(作品提出)、音楽学領域を志望する者には小論文試験を課します。

専門試験の課題は、「8. 入学試験：専門試験実技等課題」(p.11)を参照してください。

2) 研究計画(出願時に所定の書式により提出)及び口頭試問

あらかじめ提出された研究計画について試問します。これに加えて出願者の志望する領域における知識を問います。

3) 西洋音楽史

西洋音楽史における諸側面・諸問題について問います。

4) 外国語(英語)

読解力の試験を課します。書籍版の語学に関する辞典のみ持込み可。また貸出はいたしません。

⑥試験時間割

専門試験の集合時刻の詳細については、出願時に登録されたメールアドレスにお知らせします。

【前期選抜試験】

日時 研究領域	9月23日(土・祝)	9月24日(日)
声乐	専門試験 10:00～	[集合時間] 9:15 西洋音楽史 9:30～10:30 外国語(英語) 10:50～11:50
鍵盤		
器楽		
作曲		
音楽学		
	口頭試問 専門試験 終了後	

【後期選抜試験】

日時 研究領域	2月24日(土)	2月25日(日)
声乐	専門試験 10:00～	[集合時間] 9:15 西洋音楽史 9:30～10:30 外国語(英語) 10:50～11:50
鍵盤		
器楽		
作曲		
音楽学		
	口頭試問 専門試験 終了後	

⑦受験上の諸注意について

- 1) 試験室(控室)には、集合時間までに入室してください。
- 2) 試験当日は午前8時30分に開門します。必ず「受付」を通して入室してください。試験室(控室)へは、原則試験開始30分前から入室可能です。試験室等については、当日掲示で指示します。案内に従って入室してください。また試験室では、受験番号と同じ番号の席に着席してください。
- 3) 遅刻した場合は、試験係員の指示に従ってください。
ただし試験開始後、20分以上経過後の遅刻者は当該科目を受験することができません。
なお、人身事故等による公共交通機関の遅れ(ただし、バス・タクシーを除く)など本人の責めに帰さない事由による遅刻の可能性がある場合は、必ず集合時間までに入試課に連絡し、指示を受けてください。
- 4) 受験の際、試験監督者または試験係員の指示に従ってください。
- 5) 受験票を当日忘れた方は、直ちに入試課に申し出てください。
- 6) 受験した科目は各科目の試験終了時間まで、退出することができません。
- 7) 指定の科目を1つでも受験しなかった場合は、失格者として取扱い、合否判定の対象になりません。
- 8) 当日必ず持参するものは、受験票、筆記用具(黒鉛筆、消しゴム)、時計です。上履きは必要ありません。
※ 筆記用具・時計の貸し出しはできません。
- 9) 試験時に机の上に置けるものは、受験票、鉛筆、消しゴム、時計(計算機能・英語・国語辞典の機能のついたものは不可)、眼鏡のみです。スマートフォン、スマートウォッチ、携帯電話等の電源は入室の際に切っておいてください。
- 10) 不正行為をしたと認められた者は、合否判定から除外します。
- 11) 試験時間中、受験生以外は教室棟への立ち入りはできません。付き添いの方は、控室でお待ち願います。
- 12) 試験日前日の学内の見学(下見)は可能ですが、試験室への入室はできません。
- 13) 自家用車・タクシーでの学内への乗り入れは、ご遠慮願います。
- 14) 当日の服装については、特に指定はありません。

⑧合否発表

合否結果は、Web出願サイトのマイページで確認してください。郵送による合否の発表は行いませんので、ご注意ください。

3. 出願手続

①入学検定料と出願書類

- 1) 入学検定料 35,000 円
- 2) 出願書類

<input type="checkbox"/>	インターネット出願確認票（マイページよりダウンロードし、A4 サイズで印刷のこと）
<input type="checkbox"/>	受験曲目記入票 ↓
<input type="checkbox"/>	打楽器マルチパーカッション用シート（該当者のみ） ↓
<input type="checkbox"/>	研究計画書 ※1 ↓
<input type="checkbox"/>	履歴書 ※2 ↓
<input type="checkbox"/>	成績証明書（出身大学発行）
<input type="checkbox"/>	卒業（見込）証明書（出身大学発行又は出願資格の該当者であることを証明できる書類 ※3）

↓ このマークの付いている出願書類は、相愛オフィシャルサイト内よりダウンロード後、A4 サイズで印刷してください。

相愛オフィシャルサイト>入試情報>各種ダウンロード>出願書類>[大学院音楽研究科](#)

※1 研究計画書

入学後、本学の研究科で行う研究のテーマ及び研究の概要（研究目的・研究方法・展望など）について記入してください。字数は1,500字程度とします。

※2 履歴書

下記項目について、可能な範囲で記入してください。

- ・学歴（高等学校卒業から記入）
- ・職歴（ない場合は「なし」と記入）
- ・音楽学習歴（師事した教員名、指導を受けた科目名や楽器名、受賞歴など）

※3 詳細は入試課へお問い合わせください。

②その他

- ・出願は Web 出願のみです。別紙「Web 出願（インターネット出願）について」を確認してください。
- ・受験票は Web 出願サイトのマイページで確認してください。また、受験票は A4 サイズで印刷し、試験当日に必ず持参してください。
- ・すべての提出書類のうち、外国語で書かれた証明書、文書等がある場合は、必ず日本語訳を付してください。
- ・一旦提出された書類、入学検定料は、理由の如何にかかわらず返還いたしません。
- ・身体に障がいがあり、受験に際して特別な配慮を必要とする場合は、出願前に入試課に申し出てください。
- ・Web 出願、及び出願書類により取得しました個人情報は、
 1. 「出願手続きの処理」
 2. 「書類審査判定での使用」
 3. 「本人への合否連絡」
 4. 「入学までに必要な諸案内」
 5. 「個人を特定できない統計、及び入試媒体への掲載」
 6. 「入学された場合の入学者データ」

にのみ使用し、その他の用途に無断で使用することはいたしません。なお上記1.～6.は、本学より当該業務の委託を受けた業者（以下、「受託業者」と記載）において行う場合があります。受託業者に対して、個人情報の全部または一部を提供することがありますが、プライバシー保護の重要性を深く認識し、情報の漏えい等がないように細心の注意を払い、適正な取り扱いをいたします。

4. 入学手続及び学費・諸経費

①学費・諸経費

単位：円

		入学金	授業料	施設費	合計	年額
入学年次	前期	200,000 (100,000)	480,000	215,000	895,000 (795,000)	1,590,000 (1,490,000)
	後期	—	480,000	215,000	695,000	
2年次	前期	—	480,000	215,000	695,000	1,390,000
	後期	—	480,000	215,000	695,000	

注1) 学費・諸経費の他に、学生会費等諸費が必要です。

注2) 相愛大学の卒業生が入学する場合は、入学金は半額となります。()内金額。

注3) 学費・諸経費の他に、手数料、学外実習等の費用を別途徴収することがあります。

注4) 既納の入学金、授業料その他の費用は、いかなる事情があっても返還しません。

但し、入学手続きを完了した者が、2024年3月29日(金)12:00までに本学所定の「入学辞退届」を入試課に提出した場合に限り、入学金を除く既納の授業料等を返還します。

②入学手続

Web出願サイトのマイページから振込用紙を印刷し、所定の期日までに入学金、授業料等の納入をしてください。振込用紙の郵送は行いません。その他の入学手続に関する提出書類についても、マイページより確認してください。

5. その他諸注意

①個人成績の開示について

本学では2024年度入試に関する個人成績について、次の方法により開示を行います。

- 1) 申請できる対象者 2024年度入試の受験生本人に限ります(個人情報保護法の観点から、代理人申請は認めません)。
- 2) 開示対象 2024年度の本学独自の入学試験が対象となります。
- 3) 開示内容 判定に使用した、受験生本人の科目別得点および総合点を開示します。
- 4) 申請受付期間 2024年5月7日(火)～2024年5月17日(金)[消印有効]
- 5) 申請・請求方法 入試課までお問い合わせください。
なお、開示の際は受験票のコピーが必要となります。

②過年度入試問題の閲覧について

入試課窓口(相愛大学 南港学舎)のみで閲覧可能です。閲覧ご希望の場合は、事前に入試課までご連絡ください。

相愛大学(南港学舎)入試課 10:00～16:00

TEL: 06-6612-5905

注) 写真撮影、コピー、書き写しはできません。

* 閲覧期間: 2023年7月31日(月)～2024年2月16日(金) なお、土・日・祝及び本学の休日は除きます(入試課窓口開設日は事前にお問い合わせください)。

6. カリキュラムについて

①カリキュラム

科目区分	授業科目の名称	単位数		開講年次	形態	期間	履修条件	
		必修	選択					
共通科目	西洋芸術音楽総合演習Ⅰ	1		1	演習	半期	[2単位以上]	
	西洋芸術音楽総合演習Ⅱ	1		1	演習	半期		
専門科目	専門特論科目	現代音楽特論		2	1	講義	半期	声乐領域を履修する者に限り、いずれかのみ履修可 声乐領域を履修する者に限り、いずれかのみ履修可 声乐・鍵盤・器楽・作曲の領域を履修する者は、 [16単位以上] 音楽学領域を履修する者は、 [20単位以上]
		スコア・リーディング		2	1	講義	半期	
		楽書講読A		2	1	講義	半期	
		楽書講読B		2	1	講義	半期	
		音楽によるアウトリーチA		2	1	講義	半期	
		音楽によるアウトリーチB		2	2	講義	半期	
		音楽療法特論A		2	1	講義	半期	
		音楽療法特論B		2	1	講義	半期	
	専門演習科目	オペラ特別演習Ⅰ		2	1	演習	通年	
		声乐特別演習(歌曲・オラトリオ)Ⅰ		2	1	演習	通年	
		オペラ特別演習Ⅱ		2	2	演習	通年	
		声乐特別演習(歌曲・オラトリオ)Ⅱ		2	2	演習	通年	
		オーケストラ特別演習Ⅰ		2	1	演習	通年	
		オーケストラ特別演習Ⅱ		2	2	演習	通年	
		室内楽特別演習Ⅰ		2	1	演習	通年	
		室内楽特別演習Ⅱ		2	2	演習	通年	
		演奏理論特別演習Ⅰ		2	1	演習	通年	
		演奏理論特別演習Ⅱ		2	2	演習	通年	
		作品分析特別演習Ⅰ		4	1	演習	通年	
		作品分析特別演習Ⅱ		4	2	演習	通年	
専門研究科目	西洋音楽史特別演習A		4	1	演習	通年		
	西洋音楽史特別演習B		4	1	演習	通年		
	声乐専門実技Ⅰ		4	1	実技	通年		
	声乐専門実技Ⅱ		4	2	実技	通年		
	鍵盤専門実技Ⅰ		4	1	実技	通年		
	鍵盤専門実技Ⅱ		4	2	実技	通年		
	器楽専門実技Ⅰ		4	1	実技	通年		
	器楽専門実技Ⅱ		4	2	実技	通年		
	作曲専門実技Ⅰ		4	1	実技	通年		
	作曲専門実技Ⅱ		4	2	実技	通年		
	音楽学研究演習Ⅰ		4	1	演習	通年		
	音楽学研究演習Ⅱ		4	2	演習	通年		
作品研究報告書制作		4	2	演習	通年			
(研究指導)	-	-	1~2					

②修了要件及び履修方法等

[修了要件]

本学大学院に2年以上在学し、所定の授業科目30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、研究の成果の審査及び試験に合格すること。なお、各領域の研究の成果の審査及び試験は以下の通りとする。

- (ア)声楽、鍵盤、器楽の領域を履修する者は、修士演奏の審査に合格した後、演奏曲についての口述による試験に合格すること。
- (イ)作曲の領域を履修する者は、修士作品の審査に合格した後、発表した作品についての口述による試験に合格すること。
- (ウ)音楽学の領域を履修する者は、修士論文の審査に合格した後、修士論文に関係のある分野についての口述または筆記試験に合格すること。

[履修方法]

- (1)必修科目として、『共通科目』の「西洋芸術音楽総合演習Ⅰ」「西洋芸術音楽総合演習Ⅱ」、及び『専門研究科目』より、声楽、鍵盤、器楽、作曲の領域を履修する学生は、自らが履修する領域の「専門実技Ⅰ」「専門実技Ⅱ」を、また音楽学領域を履修する学生は「音楽学研究演習Ⅰ」「音楽学研究演習Ⅱ」(カリキュラム表記載上は選択必修科目)の計10単位を履修する。
- (2)声楽、鍵盤、器楽、作曲の領域を履修する者は、演奏又は発表する作品についての研究報告を取り纏めるため、選択必修科目として、『専門研究科目』の「作品研究報告書制作」の4単位を履修する。
- (3)その他、各学生のキャリアプラン等を考慮して、『専門科目』(「専門特論科目」群、「専門演習科目」群)から、声楽、鍵盤、器楽、作曲の領域を履修する者は16単位以上、音楽学領域を研究する者は20単位以上を履修する。

③履修モデル

(1)演奏家(声楽領域を履修する学生の履修例)

30単位履修

		1年次	2年次
共通科目		(前期)西洋芸術音楽総合演習Ⅰ	
		(後期)西洋芸術音楽総合演習Ⅱ	
専門科目	専門特論科目	(前期)現代音楽特論	(前期)楽書講読A
		(後期)スコア・リーディング	(後期)楽書講読B
	専門演習科目	(通年)オペラ特別演習Ⅰ	(通年)オペラ特別演習Ⅱ
		(通年)演奏理論特別演習Ⅰ	(通年)演奏理論特別演習Ⅱ
専門研究科目		(通年)声楽専門実技Ⅰ	(通年)声楽専門実技Ⅱ
			(通年)作品研究報告書制作
		(研究指導) 1～2年次を通して研究指導教員から研究指導を受け、その成果としての「修士演奏」を披露する。	

(2)ホール等の運営・企画会社（鍵盤領域を履修する学生の履修例）

30 単位履修

		1 年次	2 年次
共通科目		(前期) 西洋芸術音楽総合演習 I	
		(後期) 西洋芸術音楽総合演習 II	
専門科目	専門特論科目	(前期) 現代音楽特論	(前期) 音楽によるアウトリーチ B
		(後期) 音楽によるアウトリーチ A	(後期) 音楽療法特論 B
	専門演習科目	(通年) 室内楽特別演習 I	(通年) 室内楽特別演習 II
		(通年) 演奏理論特別演習 I	(通年) 演奏理論特別演習 II
専門研究科目		(通年) 鍵盤専門実技 I	(通年) 鍵盤専門実技 II
			(通年) 作品研究報告書制作
		(研究指導) 1～2年次を通して研究指導教員から研究指導をうけ、その成果である「修士演奏」を披露する。	

(3)芸術文化等研究機関（音楽学領域を履修する学生の履修例）

30 単位履修

		1 年次	2 年次
共通科目		(前期) 西洋芸術音楽総合研究 I	
		(後期) 西洋芸術音楽総合研究 II	
専門科目	専門特論科目	(前期) 楽書講読 A	(前期) 現代音楽特論
		(後期) 楽書講読 B	(前期) 音楽療法特論 A
		(後期) 音楽によるアウトリーチ A	(後期) 音楽療法特論 B
	専門演習科目	(通年) 西洋音楽史特別演習 A	(通年) 西洋音楽史特別演習 B
専門研究科目		(通年) 音楽学研究演習 I	(通年) 音楽学研究演習 II
		(研究指導) 1～2年次を通して研究指導教員から研究指導をうけ、その成果である「修士論文」を制作する。	

7. 音楽研究科 音楽専攻 修士課程 指導教員

2023年5月現在

研究領域/クラス	教員氏名
声楽	泉 貴子/岡坊 久美子/井岡 潤子/片桐 直樹/木澤 佐江子/ 児玉 祐子/畑田 弘美/馬場 清孝/福田 清美/松原 友/米田 哲二
鍵盤	稲垣 聡/山本 英二/井上 麻紀/大谷 正和/岡本 麻子/ 加藤 あや子/北川 恵美/小坂 圭太/坂本 恵子/佐野 えり子/ 佐野 まり子/塩見 亮/釈迦郡 洋介/田尻 洋一/中川 知保/ 星 裕子/彌園 友子/宮下 直子/宮本 聖子/山口 博明
器楽/管楽器	飯塚 一朗/清水 信貴/前田 昌宏/竹林 秀憲/清水 明/中根 庸介/ 児玉 知郎/鈴木 豊人/福井 聡/岩田 瑞和子/首藤 元/向井 和久/ 早坂 宏明/岡本 哲/小西 元司/三宅 孝典/川浪 浩一/吉野 竜城
器楽/弦楽器	田辺 良子/大谷 玲子/上森 祥平/マウロ・イウラート/ 五十嵐 由紀子/池川 章子/岸邊 百百雄/佐藤 一紀/曾我部 千恵子/ 中島 慎子/森田 玲子/小峰 航一/竹内 晴夫/秋津 智承/稲本 愛歌/ 斎藤 建寛/花崎 薫/林 俊武/幣 隆太郎/野田 千晶/中川 亨
器楽/打楽器	中谷 満/畑中 明香/堀内 吉昌/宮本 妥子
作曲	松本 直祐樹/山根 明季子
音楽学	黒坂 俊昭/アルバレス・ホセ/重川 真紀/竹内 直
その他の専門科目担当者	《指揮者》梅田 俊明/円光寺 雅彦/小林 恵子/若林 義人/ 奥村 哲也 (オペラ) 《演出家》高岸 未朝 《講義・演習》石原 興子/有馬 純寿/夏田 昌和/松谷 葉子/ 若林 千春

客員教授

研究領域/クラス	教員氏名
声楽	アンナ・マリア・フェッランテ/モニカ・ボッツォ
鍵盤	エリック・ル・サージュ/ギリアード・ミシヨリ/練木 繁夫
器楽/管楽器	峰岸 壮一/ケネス・チェ/アンドレ・アンリ/ 呉 信一/ファブリス・ミリシェー/杉山 康人
器楽/弦楽器	漆原 啓子/小栗 まち絵/五嶋 みどり/スワヴォミール・トマシク/ 豊嶋 泰嗣/セバステイアン・ハーマン/原田 幸一郎/ 今井 信子/堤 剛/クリストフ・ヘンケル/吉田 秀
器楽/打楽器	ベルンハルト・ヴルフ/ホーコン・ステーネ/種谷 睦子/吉原 すみれ
作曲	西村 朗
音楽学	大谷 紀美子
その他の専門科目担当者	《指揮者》尾高 忠明

※客員教授は実技担当教員と特別授業・特別レッスン担当教員になります。実技担当教員については入試課にお問い合わせください。

8. 入学試験：専門試験実技等課題

研究領域・楽器	課題	備考	
声楽	【自由曲】 ①歌曲2曲 ②オペラアリア又はオラトリオアリア2曲 ③W.A.Mozartの声楽作品1曲 ※ただし、計5曲のうち2か国語以上にわたること	<ul style="list-style-type: none"> ・課題①について「イタリア歌曲集1,2,3,4（全音楽譜出版）」、「Arie antiche I, II, III（A.Parisotti編集、Ricordi出版）」の中におさめられているものは歌曲とみなす ・歌唱はすべて暗譜とする ・オペラアリアは原語・原調とするが特に慣例のあるものはそれによってもよい ・演奏順は任意とする ・時間の都合により演奏を一部省略、又は指定する場合がある ・伴奏者は同伴のこと 	
鍵盤	【課題曲】 ①J.S.Bachの作品 ②以下の作曲家の練習曲よりF.Chopinを含む任意の2曲 F.Chopin op.10 又は op.25、F.Liszt、A.Scriabin、S.Rachmaninoff、C.Deussy 【自由曲】 古典派以降の任意の作品（複数曲可）	<ul style="list-style-type: none"> ・演奏時間は30分以上～40分程度 ・演奏順と繰り返しについては任意とする ・現代作品を除いて演奏はすべて暗譜とする ・現代作品（原則として1945年以降）を選択の場合、暗譜については任意とする（ただし、譜めくりが必要な場合は各自で用意すること） ・出版譜、未出版譜の作品については問わないが、いずれの場合も楽譜の提出を求める場合がある ・内部奏法を含む作品は除くこと ・時間の都合により演奏を一部省略、又は指定する場合がある 	
器楽 (管楽器)	フルート	【課題曲】 下記より任意の1曲（いずれもカデンツァを含む） ・W.A.Mozart/フルート協奏曲 第1番 ト長調 K.313 ・W.A.Mozart/フルート協奏曲 第2番 ニ長調 K.314 【自由曲】 任意の曲	<ul style="list-style-type: none"> ・課題曲及び自由曲は暗譜とする ・自由曲については出願時に作曲者名や曲名、出版社名等を明記すること ・全演奏時間は20分程度 ・演奏箇所は当日指定する ・伴奏者は同伴のこと
	オーボエ	【課題曲】 W.A.Mozart/オーボエ協奏曲 ハ長調 K.314 (カデンツァを含む) 【自由曲】 任意の曲	
	クラリネット	【課題曲】 W.A.Mozart/クラリネット協奏曲 イ長調 K.622 【自由曲】 任意の曲	
	バスクラリネット	【課題曲】 J.Semler=Collery/レゲンデとデヴィェルティスマン 【自由曲】 任意の曲 【※注意】	
	サクソフォン	【課題曲】 下記の①～③よりいずれかを選択 ①任意のソナタ全楽章 ②任意の協奏曲全楽章 ③上記①又は②に準ずる楽曲全楽章	

研究領域・楽器	課題	備考
器楽 (管楽器)	ファゴット 【課題曲】 W.A.Mozart/ ファゴット協奏曲 変ロ長調 K.191 (カデンツァを含む) 【自由曲】 任意の曲	<ul style="list-style-type: none"> ・課題曲及び自由曲は暗譜とする ・自由曲については出願時に作曲者名や曲名、出版社名等を明記すること ・全演奏時間は20分程度 ・演奏箇所は当日指定する ・伴奏者は同伴のこと
	ホルン 【課題曲】 R.Strauss/ ホルン協奏曲 第1番 変ホ長調 作品11 【自由曲】 任意の曲	<ul style="list-style-type: none"> ・課題曲は暗譜とする ・自由曲については出願時に作曲者名や曲名、出版社名等を明記すること ・全演奏時間は20分程度 ・演奏箇所は当日指定する ・伴奏者は同伴のこと
	トランペット 【課題曲】 F.J.Haydn/ トランペット協奏曲 変ホ長調 全楽章 (カデンツァを除く) ※版、管の種類は問わない 【自由曲】 任意の曲	<ul style="list-style-type: none"> ・課題曲及び自由曲は暗譜とする ・自由曲については出願時に作曲者名や曲名、出版社名等を明記すること ・全演奏時間は20分程度 ・演奏箇所は当日指定する ・伴奏者は同伴のこと
	テナー トロンボーン 【課題曲】 F.David/ 協奏曲 変ホ長調 【自由曲】 任意の曲	<ul style="list-style-type: none"> ・課題曲は暗譜とする ・自由曲については出願時に作曲者名や曲名、出版社名等を明記すること ・全演奏時間は20分程度 ・演奏箇所は当日指定する ・伴奏者は同伴のこと
	バス トロンボーン 【課題曲】 F.David/ 協奏曲 変ロ長調 【自由曲】 任意の曲	
	ユーフォニアム 【課題曲】 J.Horowitz/ ユーフォニアム協奏曲 【自由曲】 任意の曲	
	チューバ 【課題曲】 P.Hindemith/ チューバの為のソナタ 【自由曲】 任意の曲	

研究領域・楽器		課題	備考
器楽 (弦楽器)	ヴァイオリン	【課題曲】 ①N.Paganini/24Caprices op.1 より任意の1曲 ②J.S.Bach/ 任意の無伴奏ヴァイオリンソナタより第1・2楽章、又はバルティータ第2番よりシャコンヌ 【自由曲】 任意のヴァイオリン協奏曲より第1楽章(カデンツァを含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・演奏はすべて暗譜とする ・繰り返しはなし ※ただし、ヴァイオリンの課題曲①の24番と17番は繰り返しあり ・時間の都合により演奏を一部省略、又は指定する場合がある ・伴奏者は同伴のこと
	ヴィオラ	【課題曲】 ①M.Reger/ 任意の無伴奏ヴィオラ組曲 第1,2楽章 ②C.Stamitz/ ヴィオラ協奏曲 ニ長調 (カデンツァを含む)	
	チェロ	【課題曲】 J.S.Bach/ 無伴奏チェロ組曲 第3,4,5,6番より任意のプレリュード 【自由曲】 古典派以降の任意のチェロ協奏曲より第1楽章又は終楽章(カデンツァを含む)	
	コントラバス	【課題曲】 S.Koussevitzky/ コントラバス協奏曲 嬰へ短調 op.3	
	ハーブ	【課題曲】 F.J.Naderman, M.Tournier, M.Grandjany の作品よりそれぞれ1曲ずつ選択し15分以上のプログラムを組むこと	
器楽 (打楽器)	【課題曲】 下記の①～③より2項目を選択 ①小太鼓 H.Knauer/KleineTrommelSchule No.25 [出版社:Leduc] ②マリンバ J.S.Bach/ 無伴奏チェロ組曲 第1番 ト長調 BWV1007 より任意の2曲 繰り返しはなし、オクターブ上で弾いてもよい ③ティンパニ Elliott Carter/Eightpieces より任意の1曲 【自由曲】 10分以内の任意の曲(複数曲可) マルチパーカッション・ティンパニ・鍵盤楽器・小太鼓など 【オーケストラスタディ】 (演奏箇所は当日指定) ①小太鼓 M.Ravel/ ボレロ ②鍵盤楽器(グロッケン) P.I.Tchaikovsky/ 組曲「眠りの森の美女」より第5番「ワルツ」 ③ティンパニ L.v.Beethoven/ 交響曲 第7番 第1楽章	<ul style="list-style-type: none"> ・小太鼓、マリンバ、シロフォン、グロッケン、ティンパニは本学で用意する(小太鼓は持ち込みも可) ・マリンバはコオロギ UM3000CF を用意する。 ・セッティング図と借用希望楽器をマルチパーカッション用シートに記入し出願時に必ず提出すること ・各自で用意できる楽器は持って来てよい ・楽譜は見てもよい ・20分間の練習あり ・オーケストラスタディの楽譜は出願時に登録されたメールアドレスへ通知する ・伴奏者は同伴のこと 	
作曲	自作曲2曲の楽譜を提出すること	<ul style="list-style-type: none"> ・編成は問わないが、提出する自作曲の1曲以上は、研究計画書に関連する曲であること ・手書き、コンピュータ浄書は問わない ・録音、解説など自作曲の理解に必要と思われる資料は、出願時に提出すること 	
音楽学	西洋音楽史に関する小論文(90分)	・課題は当日指定、字数は自由	

お問い合わせ

入試課では、相愛大学の入試に関するあらゆるお問い合わせを承っております。
わからないこと、相談したいこと、詳しく知りたいことなどお気軽にお尋ねください。

入試に関する
お問い合わせは、
入試課へ

☎(06) 6612-5905^(入試課) ✉ nyuushi@soai.ac.jp
相愛大学 南港学舎 〒559-0033 大阪市住之江区南港中4丁目4-1 TEL(06)6612-5900 (代表)

〈相愛オフィシャルサイト〉



[2024年度 第2版]